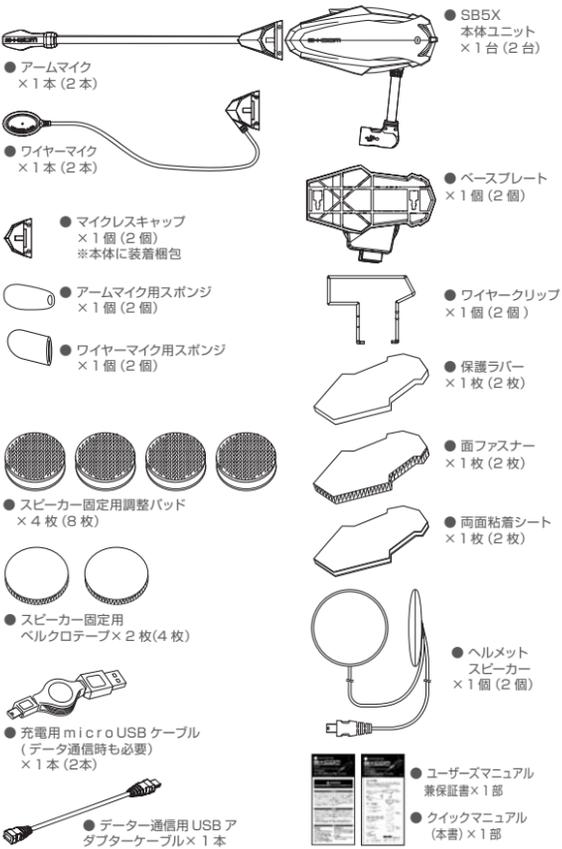


B+COM SB5Xの構成

B+COM SB5Xは、
下記のような構成になっています。

セット内容

製品パッケージには以下のパーツがセットされています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一不足がございましたら、お手数ですがお問い合わせいただいた販売店までご連絡ください。
※カッコ内は「ペアユニット」にセットされている数量です。



スピーカー固定用ベルクロテープ

スピーカーをヘルメットに固定します。外面が接着シート、内面がファスナーなので、スピーカーの取り外しが簡単です。必要に応じて間に調整パッドを入れてください。



スピーカー固定用調整パッド

ヘルメットのイヤールールが深い等の場合は、パッドで調整してください。

ヘルメットスピーカーR/L
径44mm、厚み約8mmの薄型、高音質ステレオスピーカーです。

ヘルメットへの取り付け手順は裏面をご覧ください。



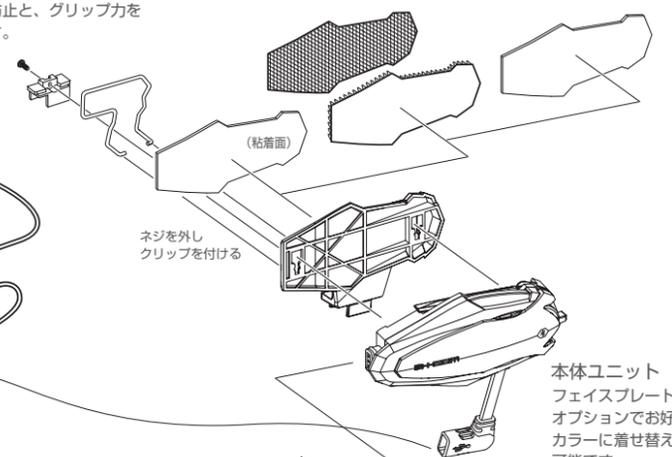
クリップ使用

クリップ&保護ラバー
ヘルメットの帽体に挟み込んで固定します。高い固定力とフィット感に優れています。保護ラバーはヘルメットへの傷つき防止と、グリップ力を高めます。

貼り付け使用

面ファスナー
外面が接着シート、内面がファスナーなので、ベースの取り外しが可能です。

両面粘着シート
外側、内側ともに接着シートなので、ベースの脱着はできませんが、面ファスナーよりもフィット感が良好です。



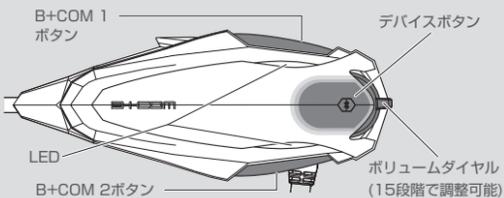
アームマイク用スポンジ
マイクに被せる事で物理的に風切り音を軽減します。必ず使用してください。

アームマイク
風切り音を軽減する高性能デジタルECMです。スポーツジェットタイプ、ジェットタイプにおすすめです。

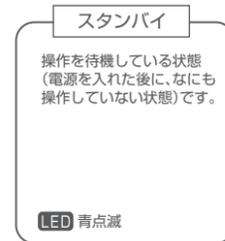
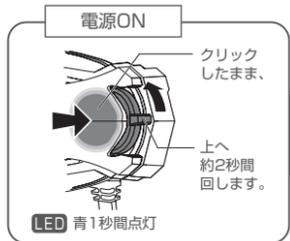
ワイヤーマイク
フルフェイスやシステムヘルメットに最適なマイクです。システムタイプ(フリップアップ)、スポーツジェットタイプの一部ではチークパッド内に仕込むことで快適な使用感が得られます。口元にゆとりが無いフルフェイスの場合もチークパッド内に仕込むのも有効です。

マイクレスキャップ
音楽やナビの音声などを聞くだけの時、マイクレスキャップを使用すればマイクが邪魔にならずスマートかつ快適に音声を聞けます。※出荷時に本体装着

使用方法



STEP 1 電源を入れてみよう



初めて使用するときは、必ず充電してください。

STEP 2 B+COM同士で通話してみよう

デバイスとの接続のみで使用する方は、STEP3へ

I B+COM同士をペアリング(初期登録)する。



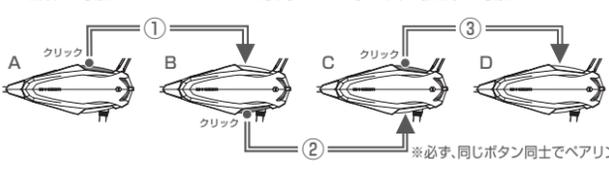
一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに接続が可能です。
上記手順と同様に、B+COM 2ボタンにもペアリングが行えます。(必ず同じボタン同士でペアリングを行ってください)
→1台のB+COMに2台のB+COMの接続が可能です。
ペアリング中は、ペアリングする機体以外のB+COMの電源をOFFにしてください。

II B+COM同士で通話する。



最大4人でグループ通話

以下の①、②、③の組みでペアリングした後、①→②→③の順番で呼び出しを行うと4人でグループ通話が可能となります。⇒の方向でのみ呼び出し接続が可能となっています。



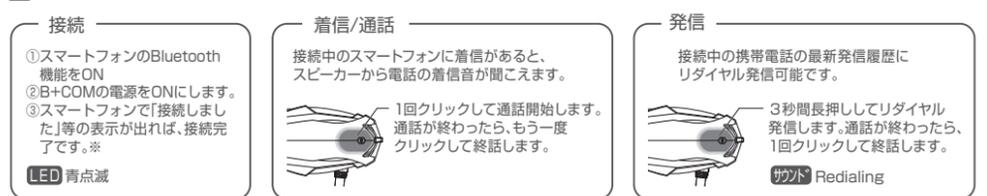
STEP 3 スマートフォンと接続して電話と音楽機能を使ってみよう

I B+COMとスマートフォンをペアリング(初期登録)する。



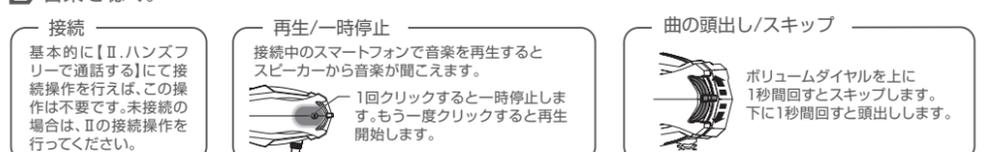
一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに接続が可能です。
ペアリング中は、ペアリングする機体以外のB+COM(Bluetooth機器)の電源をOFF(またはBluetooth機能をOFF)にしてください。

II ハンズフリーで通話する。



※B+COMの電源ON後、6秒間のみ自動で接続します(オートコネクト機能)。未接続のまま6秒間を過ぎた場合は、ボリュームダイヤルを上1回上げて接続をしてください。(マニュアルコネクト ※ボリューム操作が機能しない時のみ有効)

III 音楽を聴く。



取り付け手順

B+COM SB5Xの音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

装着時の注意点 ●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。●内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておくと、作業がスムーズに進みます。●接着シートで貼り付けるパーツは、取り付け位置を仮決めて、操作に支障がないことを確認した後、接着面の清掃、脱脂を行ってから貼り付けてください。●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間にに入れてください。●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。●ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

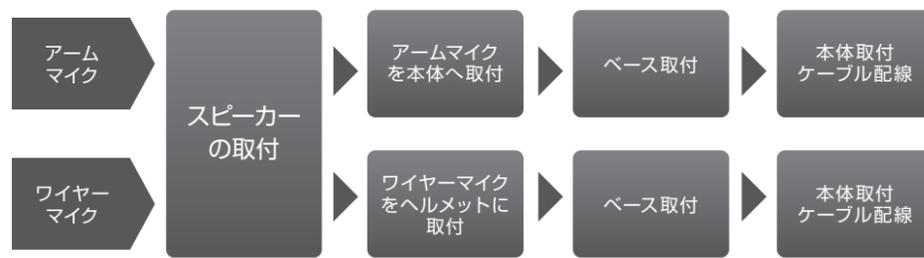
STEP 1 ヘルメットに合うマイクと、取り付け手順を確認しよう

I ヘルメットの種類に合わせてマイクを選びます。

	フルフェイスタイプ	システムタイプ	スポーツジェットタイプ	ジェットタイプ
アームマイク	△	△	○	○
ワイヤーマイク	○	○*	○*	×

※チークパッド内に入るタイプのみ

II マイクの種類に合わせて順番に取り付けます。

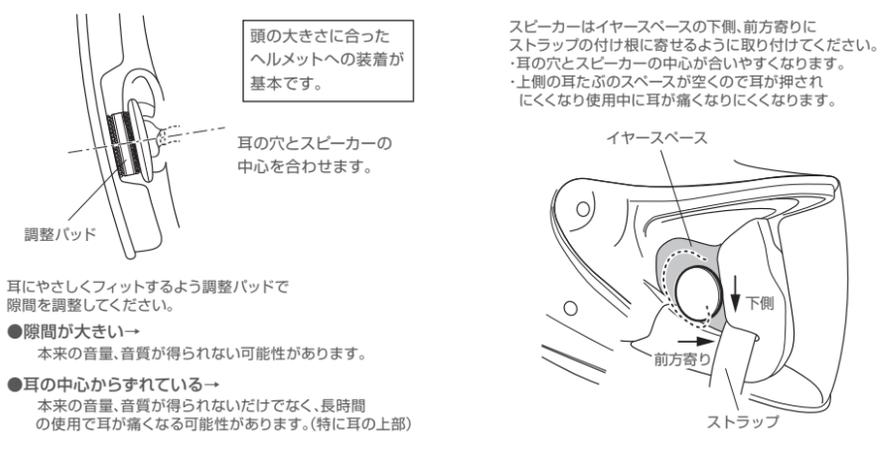


STEP 2 スピーカーを取り付けよう

重要 POINT

取り付ける前に本来の音量・音質を確認しましょう!

スピーカー単体を耳にあてて本来の音量や音質を確認しておきましょう。ヘルメットを被った際、ほぼ同じように聴こえることが重要です。位置が適正でないと、「耳が痛い」、「スピードを上げると聴こえない」、「音量を上げるとノイズがひどい」といった症状になります。

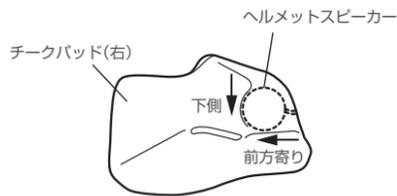
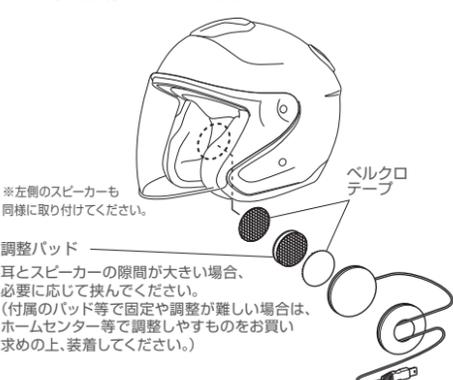


イヤースペースが見えるタイプ (SHOEI社製、ジェットタイプなど)

ベルクロテープをスピーカー設置場所のヘルメット面にループ側、スピーカーの裏面にフック側を貼り付けスピーカーを固定します。

チークパッドのイヤースペースが布で覆われ、脱着できるタイプ(Arai社製など)

チークパッドを取り外し、布の中へスピーカーを入れてベルクロテープで固定してください。



スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに取り付けてください。

- ・耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
- ・上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなります。

※ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向になります。また、フルフェイスタイプであってもシールドの半開きやエアインテークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合があります。

STEP 3 ワイヤーマイクを取り付けよう

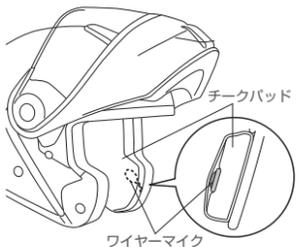
ワイヤーマイク



チンガード部の口元に接着シート付きのワイヤーマイク用スポンジを貼り付けます。なるべく下からの巻き込み風が少ない位置に設置してください。

ワイヤーマイクはヘルメット帽体(外装)とチークパッド(内装)の間からケーブルが出るように配線し、マイクスポンジのスリットにマイクを挿入します。

システムヘルメットや頬パッドの外布が外れるスポーツジェットの場合



システムタイプ/スポーツジェットタイプのヘルメットでは、シールドの開閉時にマイクが邪魔にならず快適な使用感を得られます。マイクの位置は頬とスポンジに挟まれるできる限り口元に近い位置に入れます。

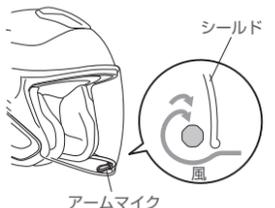
※スポーツジェットの場合、アームマイクに比べ声を拾う大きさは小さくなります。

アームマイクを取り付けよう

アームマイク

本体のマイクJACにアームマイクを奥まで差し込み確実に取付けます。

マイクを取外す際は、下図のように親指を支点に開くように抜きます。



使用中にエアインテークやシールドなどで流速の早い風が通る場合、風切り音となって大きいノイズが相手に聞こえてしまう場合があります。

マイクは、シールドの中に入るよう漏れから離し、図のように口元に位置を合わせます。口元に合わせる際は無理に曲げたり引っ張ったりしないように注意してください。落下の原因となります。

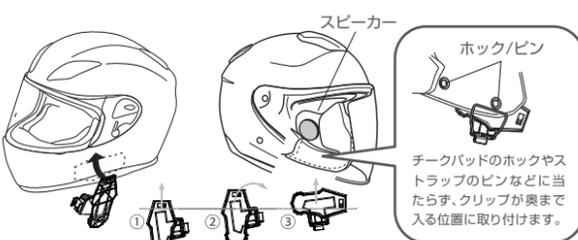
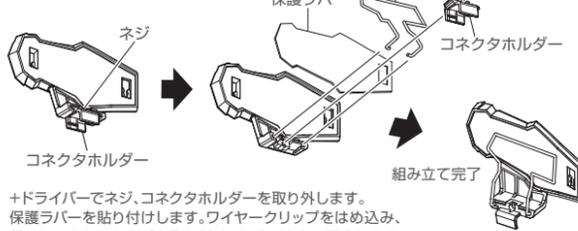
- マイク用スポンジは必ず使用。物理的に風切り音を軽減します。
- タンデム時、パッセンジャーはライダーからの巻き込み風がヘルメットに強く当たりノイズとして相手に大きく聞こえる場合があります。(シールド半開き時は特に増大します)

STEP 4 ベースを取り付けよう

ベースの取付方法は3種類ありますので、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。また、アーム型マイクを使用する場合は、マイクが口元の位置にくるようにアームの長さを考慮の上、ベースの位置を仮決めてください。

ワイヤークリップを使用

ヘルメット外装へ挟み込むため、確実なホールド性と高いフィット感が得られます。保護ラバーはヘルメット外装への傷防止とグリップ力を提供します。



- ①樹脂の先端をヘルメットの淵に押し当てクリップ先端を開かせて差し込みます。
- ②クリップの先端部分が入ったら、滑らすように回転させて正しい向きにします。
- ③クリップ全体が挿入されたら位置を調整しながら奥まで挿入します。

貼り付けて使用

- ▲貼り付ける面は必ず脱脂を行ってください。
- ▲貼り付け後、約12時間保管しご使用ください。



- 面ファスナーで取り付ける場合 付属の面ファスナーをベースとヘルメットに貼り付けます。ヘルメットとベースのカーブが大きく異なる場合は市販の強力な両面接着シートで隙間を埋めてから貼り付けます。
- 両面粘着シートで貼り付ける場合 付属の両面粘着シートをベースに貼り、ヘルメットに貼り付けます。 ※強く押さえ付けてください。 ※固定力が強い必ず確認してください ※Rが強い面には不向きです

STEP 5 本体を取り付けよう

▲取付・取外時、折り曲げ、引っ張り厳禁!

本体ユニットをベースに取り付け、コネクタの溝を合わせながらホルダーに通し、ヘルメットスピーカーのコネクタを本体ユニットと接続します。

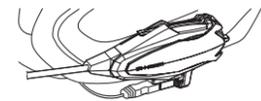


▲本体ユニットから出ているUSBコネクタはやさしく扱ってください。過度な力がかかるとう断線します。また、必ず固定してください。

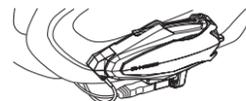
STEP 6 ケーブルを配線しよう

ワイヤーマイクと本体ユニット間のケーブル、ヘルメットスピーカーと本体ユニット間のケーブルは、内装とヘルメット帽体の間に通してください。クラシックジェットタイプ等内装が外せない場合は、ヘルメット淵の帽体と内装の間にケーブルを傷つけないように押し込んでください。

アーム型マイク



ケーブル型マイク



それでもわからない場合は! サインハウスカスタマーサポートをご利用ください!

お電話で 03-5483-1711

インターネットで www.bluetooth-intercom.jp